

議会活性化 特別委員会会議録

令和6年3月7日(木)本会議終了後
小美玉市役所 3階 議会委員会室

小美玉市議会

議会活性化特別委員会

日 時：令和6年3月7日（木）

本会議終了後～

場 所：3F 議会委員会室

1 開 会

2 委員長あいさつ

3 協議事項

- 1) ・議会基本条例の検証について
・議会報告会について
- 2) その他

4 閉 会

出席議員（10名）

| | | | |
|-----|------------|-----|------------|
| 1番 | 鬼田岳哉君 | 2番 | 宮内勇二君 |
| 3番 | 戸田大我君 | 4番 | 内田和彦君 |
| 5番 | 山崎晴生君 | 6番 | 真家功君（副委員長） |
| 7番 | 香取憲一君 | 10番 | 鈴木俊一君（副議長） |
| 11番 | 村田春樹君（委員長） | 13番 | 谷仲和雄君 |
| 14番 | 長島幸男君（議長） | | |

欠席議員（なし）

◇

議会事務局職員出席者

| | |
|----|--------|
| 局長 | 戸塚康志 |
| 次長 | 須賀田千恵子 |

午後 4時00分 開会

◎開議の宣告

○副委員長（真家 功君） お疲れさまです。

皆さんおそろいになりましたので、ただいまから、議会活性化特別委員会を開催いたします。

委員長挨拶、村田委員長をお願いします。

○委員長（村田春樹君） 皆さま一般質問の程、お疲れさまでした。

時間もだいぶ遅くなりましたので、早速はじめさせていただきます。



◎協議事項

1. 議会基本条例の検証について

・議会報告会について

○委員長（村田春樹君） それでは、本日の関係資料につきましては、スマートディスカッションに保存されています。準備はよろしいでしょうか。

[「はい」と呼ぶ声あり]

○委員長（村田春樹君） それでは、早速議事に入ります。

議会基本条例の検証についてを、議題といたします。

それについては、スマートディスカッションのほうに、福知山市議会基本の検証結果ということで表があるんですけども、こういった形で今までの小美玉市議会の基本条例の検証結果をしていきたいというふうに思っているところなんですけれども、皆さま方のほうで、こういった形でやるのに対して、今はまだ早いのではないとか、やっていくべきだとか、献身的な意見がありましたらお願いいたします。

谷仲議員。

○13番（谷仲和雄君） これなんで、福知山のやつを使うのか、どうしてこれをやるのか、福知山になったかという、そこを教えてください。

○委員長（村田春樹君） 今年になりまして、議運のほうで、福知山市のほうに研修に行ったんですけども、その先で、こういったことでやっているということでありました。福知山市のほうで、議会基本条例の検証評価結果についてということであるんですけども、福知山市におかれましては、議会基本条例市民に信頼され評価される議会になるために、基本理念の

達成に向けてということでありました。議会基本条例に基づく議会活動の実績であったり、アクション、チェック、実現できているかどうかを検証し、3番目にステップアップとして今後のあるべき姿ということで、検証評価結果についてやったものを、今回議会活性化のほうでもこういった形でやっていくべきではないかと思い、出させていただきました。

谷仲議員。

○13番（谷仲和雄君） そうすると、福知山と同じようにやっていくというあれですか。

ほかのところは特にこれと同じようなケースとかあっていろんなところあると思うんですけど、それは特に調べましたか。

○委員長（村田春樹君） ほかの場所でもやっている話は聞くんですけども、そこまで詳しくは調べておりません。今回議運のほうで丁度研修に行って、研修先でこういうことをやっていますよというお話をされましたので、小美玉市議会でもしっかりと研修結果によって取り入れて行こうということで、今こういうふうに行っているんですけども、もしほかに何かもっといいものがあれば、そういったお話があれば意見として出していただければと思います。

谷仲議員。

○13番（谷仲和雄君） まず、順序としては、こういう一例があるんだけど、検証をどういうふうに行っていくかというところを、まず、アウトライン皆さんに意見を聞いてから、こういうのを具体的にどうでしょうというのがプロセスとしてあるのかなという。福知山を見てきたからこれでどうですかという説明だから、そこら辺すっぱり抜けちゃっていると思うので、皆さんにそこら辺からの説明が必要だと思いますよ。

○委員長（村田春樹君） 小美玉市の議会の基本条例もできて、だいぶ経っておりまして、検証結果いろんな実績とか、そういったものもあると思うんですけども、そういったところに評価を付けていかなければいけない。これからの小美玉市のために何が必要であって何が必要ではないのか、そういったところもしっかりと見ていかなければいけないと思いますので、検証していかなければいけないと思っているところなんですけれども、皆さんのほうでいろんな情報ありましたら、そういったことを意見で出していただければと思うのですけれども、どうでしょうか。

香取委員。

○7番（香取憲一君） わたしも福知山に同行させていただきました、今、谷仲委員がおっしゃるとおりかなとは思いますが。最初のスタートの時点で、小美玉市の基本条例を見直すというところをメインテーマとして今回進めていくのか、いやそうじゃなくて、他に何か別のテー

マをもってそれを小美玉市オリジナルとしてやっていきたいと思いますかという、その部分はみんなでも話し合うべきではないかなとわたしも感じましたが、ただ、この福知山については、わたしも同席しまして非常に勉強になりましたので、1つのモデルケースとしては非常にいいものではないかと感じていますが、選択肢を最初に皆さんに意見を聞くということは、その通りだと思いますので、そこからやったほうが良いと思います。

○委員長（村田春樹君） 山崎委員。

○5番（山崎晴生君） 議会基本条例の検証ということで、検証をしてその後どうしていくというのはまだ全然そういったところは決まってないんですか。例えば検証して検証結果をどういうふうにしていきたいのか、議会基本条例の検証をしますということだとわかりずらくて、こうこうだから議会基本条例の検証して、今後検証をもって何か例えば市民に発信するのか、この次の議題にもありますけど、議会報告会とか形を変えたもので、そういうところで発信していくのか、何のためにこれをやって、どういうふうに生かしていくのかというところを少しお聞かせいただければと思います。

○委員長（村田春樹君） そしたら、福知山市議会の資料を見ていただきたいんですけども、その43、44ページのほうに、このように、議会のほうでは検証評価結果ということでやっているんですけども、小美玉市も必要なのかなとは思っています。今までやってこなかった部分、基本条例に基づく活動の実績はどのぐらいあるのか、さらにはそれが実現できているかどうかを検証させるべきなのかと思っています。また、最終的には、今後のあるべき姿というのをしっかりと明確にしていかなければいけないのかなと思っはいるんですけども、そういったことで、今回検証必要かどうか、するべきかどうか、そういったところも皆さんにお聞きしたいと思っております。

谷仲議員。

○13番（谷仲和雄君） 検証は必要です。検証していく必要だということで、今日資料にはないけども、多分皆さんタブレットの中に小美玉の基本条例入ってると思います。この基本条例があって、各要綱、取り決めた要綱が出てくるので、要綱1つ1つ突き合わせていって、実際にこの条例の目的に沿った要綱が、実際に議会で運営できているかどうか、運用できているかどうか、そういうところのチェックが必要で、その運用ができていないというところは改善をしていく。改善していくにあたって条文の修正が必要であればやっていくというそういう作業になってくるかと思うんで、福知山市議会さんの資料のほう細かく書いてありますけど、多分これ本格的にやったら、多分この委員会すごい莫大な期間がかかってしまうと思うので、

そこら辺は、実際運用のところまでどうやって改善していくかというところをピックアップして洗い出して、そういう形でシンプルにやっていったほうがいいのかというのは、これわたし個人の。あくまでも小美玉の市議会基本条例と要綱がありますよね。いろんな。例えばさっきばつと福知山のを見たら議員さんのことが細かく書いてあるので、だいたいそういうのは小美玉で実際やっているところもあるし、議会報告会のやり方としては、福知山市議会さんはこうやっています、小美玉は今こうやっている。実際小美玉で基本条例でうたっているそういうあり方が、きちっと運用できているかどうかというその検証は必要かと思います。そんなところでわたし個人の考え方です。あとは皆さんからのご意見があれば。

○委員長（村田春樹君） 今回なんで小美玉市議会の基本条例の検証をしていかなければならないのかというところなんですけれども、小美玉市議会基本条例の中に、第 21 条議会は市民の意見社会情勢の変化等を勘案し、この条例の目的が達成されているかどうかを検証し、その検証結果及び法令の改正等必要に応じて、この条例の改正を含む適切な措置を講ずるものとするということであります。そういった中で、先ほど言いました福知山市さんのほうの検証結果のほうとか、だいたい細かい形ですけれども、細かくじゃなくても例えばこれはちゃんとしっかりやれているから丸とか、これはまだできていないから三角とかバツとか、そういったものから少しずつ始めていって、必要なもの必要じゃないもの、そういったことをしっかりと皆さんで意見を出し合えればいいのかと思っているんですけども。そしたら丸、バツ、三角ぐらいの形式で、一度しっかりと実現されているかどうかとか、検証するような形で始めていっても大丈夫でしょうかね。それで例えば足りないものがあれば皆さんと意見を出し合って付け足していくとか、ここのあれでは付け足しできないですけども、しっかりと話し合いをして議運に上げていってとそういった作業になりますけれども、皆さんと意見を出し合えるような形にしていきたいと思うんですけども、今回そういった形で進めていっても大丈夫ですかね。

鈴木委員。

○10番（鈴木俊一君） 結構議会基本条例の検証している市議会が、あっちこっちで八王子とか、名取市とかいっぱい検証しているんですね。丸、バツというよりは、ABCD だったり、1 2 3 4 5 だったりとかのほうが多いので、丸、バツというよりは5段階とかでやっていったほうがいいのかと思います。

○委員長（村田春樹君） ABCD とか1 2 3 とかのことについては、副委員長とも相談して、どういったことでやるかということに相談して、皆さんのほうに提示して、皆さんのほうで、ものを付けていただけるような形をとっていきたいと思いますので。

香取委員。

○7番（香取憲一君） 今のお話しわかりました。検証をして、点数付けとかなんとか皆さんで検証して、ここは足りなかったな、例えば ABCD の C となった場合に、足りないところのわけだから、足りないところをこれから改善してやっていくために、今度は改善のための具体的なこういうことをやってここの足りない部分を補って、さらに B とか上にあげていくようにみんなでやっていきましょうということで理解していいわけですね。

○委員長（村田春樹君） そうです。

○7番（香取憲一君） そういうことですね、わかりました。

○委員長（村田春樹君） 鬼田委員。

○1番（鬼田岳哉君） この場で決めるというのは、条例の検証をするよというのを決めるのか、その先にいつまでにそれをやるのか、何を選定するのか、どこを元にやるのかというのを今日この場では決めずに、条例をやるかやらないかということに限って決めるという理解でよろしいですかね。

○委員長（村田春樹君） はい。

○1番（鬼田岳哉君） ありがとうございます。

○委員長（村田春樹君） 取り敢えず今日は、やるかやらないか、出していければと思っております。

谷仲議員。

○13番（谷仲和雄君） なかなか特別委員会の開催って、定期的になかなか頻度が難しいと思うんで、ある程度やるという方向になったら、どこまでやるかを今日ここで決めたほうがいいと思うんです。それともう1点、これは後で事務局さんのほうにお願いしたいと思うんですけれども、条例に関わる要綱等が多分いろいろあると思うんです。条例の下に要綱とかいろいろありますよね。

○議会事務局次長（須賀田千恵子君） はい。

○13番（谷仲和雄君） そういうのを、あとで取りまとめる形で、実際具体的な作業に入るときはそれが必要になるのかなど。今日は検証をやる、どういうところまである程度のスケジュール間をしっかりと決めないと、次、特別委員会開催してという、次もそこから入れるような形しておかないと、年間限られた回数しか開催できないと思うので、そういう使い方するとせっかくなかい会がもったいないので、それだけわたしのほうから言うておきます。

○委員長（村田春樹君） わたくし個人の意見なんですけれども、検証してしっかりと何か

出していくとなると、1年でやるというのはなかなか難しいのかなと思っているので、だいたい2年ぐらいかけて皆さんと話し合いながら議会のこれからの議会基本条例の今後のあるべき姿というのを出していかなければいけないのかなと思っています。1年で特別委員会を開催するというのにも先ほど谷仲委員さんもおっしゃってましたけれども、限度があると思いますので、1年でやるというよりも、2年のスパンという形でしっかりと皆さんと時間をかけながら、いろんな意見を出し合いながら他の市町村いろいろ、いろんないい例があると思いますので、そういった例を皆さんと拾っていきながら、それを小美玉スタイルに変えていきながら、それを形にしていければと思っているんですけども。例えば今年1年のうちに今までの活動実績であったりとか、実現できているかどうかそういう検証をしっかりと、1年でどういう形にしていこうかというのをやるような、そういった考え方でいいのかなと思っているんですけども。

谷仲議員。

○13番（谷仲和雄君） そうすると、活性化委員会で取り組みべき事項と、平行しながら進めていくということよろしいですか。

○委員長（村田春樹君） はい、平行しながら。

○13番（谷仲和雄君） そうすると、実際、今の条例とか要綱で、具体的に今やっている形とこれと、実際これはできている、できていない、これはこうであるべきだというところの話は、1つのそれをやりながら、いくつか平行して活性化の具体的な活動とか、そういうところは平行してやっていくというところ。例えば議会報告会はどうするかとか、これだけで1年とか2年使ってしまうと、そうすると、またこの委員会の趣旨とはどうかなという思いはするんで。

○委員長（村田春樹君） もちろん平行しながら。

○13番（谷仲和雄君） 平行しながら、はい。

○委員長（村田春樹君） 鈴木委員。

○10番（鈴木俊一君） いろんな市でやっているんですけど、4年かけて1回検証をまとめたところもあれば、条例で1年1回以上検証している市もあったり、いろいろまちまちなんで、ただ、期限は決めておいたほうがいいと思うので、4年かけて1回というのもあれなんで、2年ぐらいの目途でやり方もいろいろありますけど、1条から全部分割して今日は1条から3条までですとか、分割して2年ぐらに分けてもいいですし、そういうおおまかな方向性だけ委員長、副委員長で計画立ててもいいですし、事務局で立ててもいいですし、どういう検証の

仕方をしていくか、あと次回は、他の検証記録をみんなでどういう検証をしているのかというのを検証してもいいのかなと思いますので、流れ2年ぐらいでいいのかなと思います。

○委員長（村田春樹君） ありがとうございます。

そのほかありますか。

谷仲委員。

○13番（谷仲和雄君） 会議のための会議にならないように、それだけ言っておきます。

○委員長（村田春樹君） ありがとうございます。

そのほかなければ次に移ります。

議会報告会についてということなんですけれども、今回長島議長のほうから、議会報告会開催してほしいという話がありましたので、議長のほうからお話しいただいてもよろしいですか。

長島議長。

○議長（長島幸男君） 数年前から議会基本条例に沿って、議会報告会をやってきました。そういう中で、もうマンネリ化して、当時は美野里、小川、玉里で開催していたんですが、コロナの前あたりには10人ちょっとぐらいなんです、各会場でね。それではまずいんじゃないかなという会議もあって、そのうちコロナでやらなくなってしまった。それに代わるものという話も出ていたんですが、はっきりこういうふうにはまではいってなかったんですね。今もお話ししていますが、先日の視察でやり方によってそういう議会報告会をやって集まるんじゃないかなということで、巡回型というか、地域を回って出張でこちらから出向いて意見交換会みたいな形でどうなのかなと。これは皆さん読んでもらおうと、どういう形でやっているかというのがあるんですね。そこら辺もこの会議で検討していただきたいなど。例えば、団体市内でいくつかいろんな団体がありますよね。なんかの女性会とかで20人、30人、それと商工会の会員さんとか、その他ここにも載っていますが、民生委員・児童委員の方とか、そういう団体があって、そこの方と市政に対しての意見交換会ということで話し合いをして、どういうふうにもって行くかというような形でどうなのかなと。それと、あとは地域別にやっていたんですが、今は各地区で小学校単位で地域のコミュニティがあるんですね。10ちょっとあるのかな、小学校単位だから。わたしも別な会議の集まりのときに、議員さんわたしの地区はよく知っているのかなという話があったんですね。わたしらも羽鳥地区の皆さんについてはどういう考え方とか、要望があるとかとかハッキリわからないですね。だからそう

いう地区コミュニティ今盛んにやっていますから、そこへこちらから出向いていろんな市民の要望とか、そういうことで意見交換会、こういうのもいいんじゃないかなということ、既に福知山市議会では、いろんな形でやっているんですね。議員の皆さんもよくここら辺考えてどうかなということ。また、この委員会のメンバー期数が若い方で、皆さんはじめての方も実際議会報告会には参加した方がいないと思うんですよね1期生の方はね。これから議会報告会というのは、前の基本条例では年1回やろうということだったんですが、途中で変更しまして議会報告会もできるという形だったのかな、変更してね。毎年ということは抜かして、そういう形で基本条例の中でもいろんな条文を変更したりなんかしてきているんですよね。ですから、そういうような形で報告会ができるということですから、是非わたしのほうとしてはいろんな場所に出向いてでもやっていただきたいなと思っているのですが。

○委員長（村田春樹君） 議長ありがとうございます。

議長のほうで、今回議会報告会のほうを開催したいということで、お話しがありました。

1期生と2期生も報告会未経験ですよね。なので、確かに昔の議会報告会というのは3地区回って10名いるかないかという方に対して議会の1年間の報告というのをやっていたんですけども、今回は議長のほうでいろんな場所に回って議会報告をしたいということで、どういう団体回るのか、そういうのも話し合いが必要かなと思うんですけど、開催時期としては例年8月頭ぐらい、7月終わりぐらい、そのぐらいにやっていたので、その頃じゃなくても11月とか、12月定例会始まる前とか、そのあたりまで皆さんといろんな意見を出し合いながら、できるだけ早く意見を出し合いながら、方向性を見出して議会報告会を開催したいと思っているんですけども、皆さんのほうで何か意見あれば、お話しいただければと思います。

宮内委員。

○2番（宮内勇二君） 1月末に、隣の石岡市で行われているのを教えていただいて、初日にいい行いだなと思って見てきたんですけども、非常に内容を見るととっちらかって、まとまなくて終わってしまうのが見受けられたので、やることはいいと思うんですけども、ちゃんと考えながらやらないとただやるだけということになってしまうのかなと感じました。いろいろ練って、やるからにはしっかりやったほうが、ただのパフォーマンスにならないようにしていただいたほうがいいと思います。

○委員長（村田春樹君） ありがとうございます。今まで議会報告会何回かやってきて、いろいろな一面もあったし、その中でも悪い一面もあったし、いろいろあると思うのですけれども、今回例えば議会報告会をやるとすれば、今までどおりの形式の議会報告会。例えば1年

間こういうことを委員会でやってきました、こういうことを議案で議決して可決しましたとか、いろんなそういう細かなことではなくて、いろんな住民の方とのいろんな意見交換という形で、対話するような形、ほんとに御用聞きとかそういう形になるかもしれないですけども、こういうことを議会ではやっているんだよという、例えば今回台湾の話ですか、議会のほうで出しました。そういう話しとか、そこから繋がる市民の方との対話とか、いろんなそういった対話形式でいろんなものが話生まれてくるのかなと思っております。あとはさらにそういうのではなくて、何かグループで、このグループはこういうテーマで、いろんなテーマを決めてやる形もありますし、どういう形にするのか、どういうやり方でやりたいのか、こうすれば失敗しないんじゃないのか、議員の皆さんの意見を出し合っていて、それで方向性を決めていけたらなと考えているんですけども、どうでしょうか。

谷仲議員。

○13番（谷仲和雄君） 先ほどの議長のお話しとかを踏まえれば、例えば分かり易い例で言うと、文教福祉委員会が年1回、民生委員、児童委員、民児協役員の皆さんとの意見交換会、こういう形でテーマについての意見交換会というのをやっている形があります。そういういろんなところに議会が出向くのであれば、いつ頃やりますかというのではなくて、それは相手の都合に合わせるのが筋であって、そうすると、年間とおして活動、そういう活動をやりますということで、そういうスタンスでいかないと思います。あくまでもそうすると、所管の委員会という形になってくるのかと思うんで、そうすると、そのテーマに沿った形で活性化委員会という形よりは所管の委員会でいろいろテーマごとに沿って意見交換をしてきて、そこでいろんなお話し聞いてきたやつを今度議会に落とす。そこでどうやって進めていったらいいのかという。これが進んでいくと、以前基本条例をつくるときに、視察に行った会津若松の議会からの政策形成のサイクルというそういうところに応用できると思います。そういうスタンスであれば、やっぱりいつじゃなくて、これは年間通年で。あとは相手のところに出向くのであれば、そこら辺のアポイントメントを取るのは正副委員長であったり、そこら辺はいろいろどういうパターンなのか、例えばよその自治体などではよく広報公聴委員会という形、小美玉は広報だから広報紙だけしかやっていないけど、ほかのところはだいたい広報公聴とあって、こういう広聴の部分やってますので、そういうところでどういうふうにアンテナ張っていったらいいかというのは、これは皆さんで検討することだと思います。いろんなところに出向くのであれば、通年でお声が掛ければすぐ伺いますと。以前、守谷市議会さんに視察に行ったときに、当時の議長さんが、そういうところに行って溜息でも聞き取ってこいという。その議長さんが

お話しされていたのが、自分のところの条例は全部頭に入れておくと。その2つはそういうお話があったので、そういう方向性になるのかなと思います。

○委員長（村田春樹君） ありがとうございます。先ほど谷仲委員のほうから委員会のほうで出向いてもいいんじゃないかと話しあったんですけども、先程議長とも話している中で、議会報告会意外にも委員会で出張してやるべきではないかという話もありました。例えば両立して議会報告会もやる、委員会出張もやるという形にしていったほうがいいのか、それとも片方だけにしたほうがいいのかとか、いろいろあると思うんですけども、議長この考えとしてはどうしたらいいですか。

長島議長。

○議長（長島幸男君） やはり専門的な要素もあるんで、担当部署の委員会、これからどういう団体とか、なんかというのが、今からみんなのあれで出てくると思うのですが、それについては、どここの委員会が所管だなということになれば、その委員会で対応するという一方で、相対的にはこの活性化委員会でまとめていろいろ報告はするような形でどうなんでしょうかね。そういう形で、また1つお話しすること忘れていたのがあるんですが、これも活性化の中に入るのか、議会の今日も傍聴関係見たらほんの数名なんだよね。2名か3名くらいで、それで投票率もあまり政治に興味を持っていないということで、以前こころ周辺の議会を見てみると、鉾田は各区長会を地区別にわけてきてもらっているというのがあるようですね。小美玉市もこの間教育長と話したんですが、中学生の子ども議会をやっているんで、以前は小学生だったんですが、今年2月にやったのは中学2年生ですから、その方は代表で1つの学校から2人ぐらいやっていますので、どういうふうに使われたのかはわからないのですが、全体的に議会とはどういうものかということをや若いうちから見てもらうのがいいので、クラスごとに傍聴席に来てもらって、20人か30人くらいかと思うんだよね。十分入るんで、学校単位ごとに小さい頃からこういう地元の議会というか、そういうものに興味を持っていただいて、そうしますと投票率も上がるんじゃないかと。この福知山市を見てみると、高校のあれがあったんですね。でも、高校の場合には福知山だけじゃなくて、周辺から来てる生徒もいるみたいなんです。1回やったけどそれで終わってしまったみたいで、高校は県が管轄なんです。小中学校の場合は市のほうの管轄ですから、この間も教育長考えているかどうかはわからないけど、お話ししておいたんですね。そこら辺もみんな考えて、活性化していきたいなと思います。

○委員長（村田春樹君） ありがとうございます。

香取委員。

○7番（香取憲一君） まさに、議会基本条例検証と冒頭に出ましたけど、議会報告会の件については基本条例の中に入っているわけで、それも1つの検証業務ということになると思います。どういうふうなカテゴリーにしていくのかという話で、例えば福知山の14ページは、それぞれ総務防災委員会だったら災害に強い安心安全なまちづく、教育厚生だったら福祉教育、こういういい事例がいっぱい載っているんで、そういうところも検証業務と平行して、つまりは議会報告会どうするということが議会基本条例の検証業務の作業の1つになると思うので、同時平行でそのスパンで見ればいいんじゃないかと思います。

○委員長（村田春樹君） ありがとうございます。

そのほか。

山崎委員。

○5番（山崎晴生君） 報告会この資料だと、テーマを設けてやっているんで、宮内委員からもあったように石岡見てきたんですけど、あっちこっちで議員さんがみんな下を向いてしまって答えられないみたいなどころもあったし、多分テーマが絞られていなくて、みんな自由に議会からの何々委員会はこういうことやってます、最後にそれに対しての質問ありますかに対しても全然違う話をしていたり、かなりとっちらかっていた感じがしたので、であればしっかりとテーマを設けて団体の問題とか、そういったものに関してのテーマをしっかりと設けて、議員がそれに対話形式で話を進めていくというのは、非常に有効なものでないかと思います。集まってくださいというよりは、議員が出向いて話をしに行くというスタンスは、大事なんじゃないかとわたしは思いました。

以上です。

○委員長（村田春樹君） ありがとうございます。

そのほかありますか。

鬼田委員。

○1番（鬼田岳哉君） 1点目、話がまた別になっていくと思いますけど、中学生の見学という話しが議長からありましたが、もうこれはこの場で決めても全面的に賛成でもわたしはいいのではないかとわたしは思っております。

もう1つは、市政報告会なんですけど、谷仲議員がおっしゃられたように、縦の専門的にやるのか、横のコミューティを通して区域として面積としてやっていくのか、両方やるのかというところがあると思うんですけど、全部やるのか一部に限っていくのかを含めて委員長、副委員

長で次回までにもんでいただければと思うのですが、これはわたくしの意見でございます。

以上です。

○委員長（村田春樹君） ありがとうございます。

そのほか、特にないですか。大丈夫ですか。

取り敢えずこの件に関して、委員長、副委員長で決めていきたいと思うんですけどもいいですか。

[「はい」と呼ぶ声あり]

○委員長（村田春樹君） どういった形式でやるのか、皆さんの意見出ましたので、それを集約してどういうふうにやっていくのか、次の委員会のときに決めて、その方向性に向かってやっていくということによろしいですか。

[「はい」と呼ぶ声あり]

○委員長（村田春樹君） ありがとうございます。

◇

2. その他

○委員長（村田春樹君） その他に入りますが、皆さんのほうで何か、これから例えば議会活性化やっていく中で、どういったテーマを決めてやっていくのか、皆さんのほうでこういうふうに小美玉市議会やっていきたいという何かざっくりですけれども、何かテーマがあったら言っていただければ、皆さんから聞いた意見を元に委員長、副委員長でもんで、どういった方向性にもっていくのか決めていきたいと思しますので、皆さん何か意見があればお願いします。

宮内委員。

○2番（宮内勇二君） 一般質問で投票率の低下ということで話がいくつか出て、今議長のほうからもそういった若い頃からであったと思うのですが、長島議長の地元外之内地区の投票率が非常に一番高かったということで、非常にこれはいい例だと思うんですよ。もしもその地区で何かやっている取り組みとか、それがあればみんな興味を持ってもらえる地区もあるのかなと思いますので、それも議会活性化に繋がるのかなと思いますので、興味を持っていただくということは非常に大切なことだと思いますので、そこらへんも議長のほうから何かあれば教えていただければと思います。

○委員長（村田春樹君） ありがとうございます。

今、教えてもらったほうがいいですか。

○2番（宮内勇二君） それは、これからいろいろ何かあればアドバイスいただければと思

います。

○委員長（村田春樹君） そのほかありますか。

鬼田委員。

○1番（鬼田岳哉君） わたしばかり話して恐縮なんですけど、かぶる部分、かぶらない部分基本条例であるかもしれないんですが、議員の自立というところをわたし1つ提案させていただきたくて、例えばお休みする際はもう少し厳格化したほうがいいのではないかと。例えば病欠なら病欠で構わないんですけど、自治法137法と規定関係であるんですけど、休み前には必ず議長に報告しなさいよとかあるんですけど、休むと言って、なかなか20人揃わないので、休む場合、病欠する場合は診断書持ってこいとか、そういったことを決めたほうがいいのではないかというのが1つと、あとお弁当ですね。ただ飯550円で食べていますけど、議員でいいんじゃないという、無償化じゃくていいじゃんとか、そういった議員の自立というところを1つ目途にしてやるのはいかがかなと思います。

○委員長（村田春樹君） ありがとうございます。

そのほかありますか。

谷仲議員。

○13番（谷仲和雄君） その他のところでお聞きしますけど、この特別委員会って、だいたいどれくらいのスパンで開催していくか、なんで聞くかという、わたしが改革推進のとき基本条例ができて、その制度設計を各要綱をまとめていってくださいという作業で、スケジュールを見たときに、だいたい月1回とか、多いときは月2回とかのスケジュール間でやっていかないと間に合わないというのがあったんですね。そうすると、ある程度この委員会がさっき意見交換会であれば、やっぱりそこらへんはある程度もうスケジュール間をもって早めに動かないと、後手後手になっちゃいますから、そこら辺はどれくらいの頻度かという、今どういうイメージで考えているかお聞かせください。

○委員長（村田春樹君） まさに月1回とか、多くて2回とか、ここでいろいろやらなければならないとなったら月3回とか、もしかしたらあるかもしれないですけど、できれば月1のペースで集まっていたいで、皆さんといろんな議論を交わせるような。集まってただ集まるだけではなくて、先進的な意見を聞きながら、前に進めるような委員会にしていきたいと思うのですけれども。

谷仲議員。

○13番（谷仲和雄君） そうすると、もう1点はこれも当時の話なんですけど、ある程度

最終かけたときには、もうたたき台しっかりできた状態でいかないと話が全然進まなくなっちゃうので、その場集まって皆さんどうしますかだと多分全然話しまとまらないから、ある程度こういう形のたたき台をしっかりつくってもらった形で、参集した中で進めていかないと、多分難しいと思うんで、そこは正副委員長のほうでよろしくをお願いします。

○委員長（村田春樹君） ありがとうございます。

そのほかありますか。

[「なし」と呼ぶ声あり]

○委員長（村田春樹君） 今、出ました谷仲委員、宮内委員、鬼田委員の内容、そういったこととか、他にも何かこういうことを進めていきたいというのがあればいつでもそこら辺次の委員会始まる前とかに言っていただければ、そういったことも副委員長と話し合っ決めていければと思っているんですけども、次は4月に委員会開催したいと思うんですけども、ダメな日とか皆さん、ここだけはダメだよという日がありましたら今のうち教えていただければ、委員会終わってからもいいので、教えていただければその日はずして、できれば皆さん集まれるような形でやりたいと思いますので、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

特になければ副委員長お願いします。

○副委員長（真家 功君） それでは以上で、議会活性化特別委員会を閉会いたします。お疲れさまでした。

午後 4時50分 閉会